OpsNap

見本

AIの地図

架空の会社：精密部品の加工・社員45人
1か月目の終わりにお渡しするもの

1 変えたいこと

いま
受注の入力と日程の組み直しを、生産管理の1人がほぼ毎日、夜までやっている。その人が休むと、受注が止まる。

→

目指す姿
受注から段取りまでが、ベテラン1人に頼らずに回る。生産管理の方は、日程の判断に時間を使える。

社長と現場の方への聞き取りと、担当の方の1週間の作業の記録から決めました。

2 AIに移す仕事と順番

	仕事	どう変わるか	この順番の理由	時期
1	**会議の記録** 朝礼・週の会議	録音から、決まったことと宿題の一覧が会議の後に届く	毎週あり、間違えても困らない。1か月目のうちに動かせる	**1か月目** **（動いています）**
2	**受注の取り込み** FAX・メール	AIが読み取って受注の表に入れ、自信がない所だけ人が直す	いちばん時間がかかり、1人に頼っている	**2か月目**
3	**日報の集計** 手書きの日報	写真から読み取り、毎日の表にまとまる	受注の表とつながると、段取りに使える	**3か月目**
4	**見積の下書き** 過去の見積から	似た品番の過去の見積を探し、たたき台ができる	探す時間が長い。最後の値段は人が決める	**4か月目**
5	**手順を聞けるAI** 1〜4の手順書	段取りや手順の質問に、手順書をもとに答える	1〜4で手順書がそろってから作る	**5か月目**
6	**請求書の発行** 出荷の記録から	出荷の記録から請求書の下書きができる	お金に関わるので、慣れてから移す	**6か月目**

3 誰が・いつまでに・何で測るか

仕事	御社の担当	測るもの	いつ測るか
会議の記録	総務の担当の方	記録を作る時間・宿題の抜け	1か月目の終わり
受注の取り込み	生産管理の担当の方	1件あたりの時間・打ち間違いの件数・できる人の数	移す前と1か月後
日報の集計	工場長	集計にかかる時間・できる人の数	移す前と1か月後
見積の下書き	営業の担当の方	1件あたりの時間	移す前と1か月後
手順を聞けるAI	工場長	同じ質問が人に来る回数	移す前と1か月後
請求書の発行	経理の担当の方	1件あたりの時間・直しの件数	6か月目

測るのは、時間・ミスの件数・その仕事をできる人の数の3つだけです。6か月目に、前と後を並べてお見せします。

AIに移さない仕事

納期の回答の最終の返事
お客様との約束なので、AIが下書きしても送るのは人

見積の最終の値段
取引先ごとの事情を知る人が決める

品質の合否の判断
記録はAIが整えるが、判断は検査の担当の方

置き場所とお金

仕組みとデータ
御社のGoogle Workspaceの中。契約が終わっても残る

AI
学習に使われない法人向けのものを、御社の名義で契約

動かし続ける費用
御社の名義の利用料。地図をお渡しするときに、月いくらかを出します

この地図と、動き始めた1つ目を見て、決めてください

納得できなかったり、この先が見えないと感じたら、1か月目で解約できます。お支払いは1か月目の分だけです。